

1. 次の記述のうち、正しいものには , 誤っているものには × を () 内に記し、かつ、誤りの箇所を丸く囲み、その上または下に正しい記述を示せ (例を参照のこと) .

例 : () コンクリートは一般に引張力に強く、圧縮力に弱い .

() 材料の応力~ひずみ関係は、「応力 = 弾性係数 E * ひずみ」で表される . これらの単位は、 $[N/mm^2] = E[N/mm^2] * [mm]$ のように表される .

() 鉄筋規格 SD295 と SD345 とを比べると、降伏強度は SD345 の方が大きい、降伏ひずみは SD295 の方が大きい . また、弾性係数は両方とも同じ値で、通例設計では 200 MN/mm^2 を用いる .

() 鉄筋コンクリート部材では、コンクリートが乾燥収縮を受けると、一般に、コンクリートには引張応力、埋設されている鉄筋には圧縮応力が作用する (拘束応力) . このような拘束応力は、鉄筋量が多いほど、収縮が大きいほど、大きくなる . 乾燥収縮が大きいと、コンクリートのひび割れに至ることがあり、このときの乾燥収縮ひずみ e_{sh} は、 $e_{sh} = \frac{f_t}{E_c} \cdot \frac{np}{1+np}$ で表される .

() 曲げモーメントを受ける鉄筋コンクリート (単鉄筋長方形断面) の中立軸比 k は、 $k = -2np + \sqrt{np + (np)^2}$ で表される . 一般に、 n は弾性係数比で 1 より大きく、 p は鉄筋比で 1 より小さく、算出される中立軸比 k は 0.5 より小さい正の値となる . この算定式は、終局状態における曲げ耐力の算定に用いられる .

() 梁部材に配置される鉄筋は、主鉄筋（軸方向鉄筋）と腹鉄筋（スターラップ、折曲げ鉄筋）に分類され、前者はせん断力、後者は曲げモーメントに抵抗する。また、曲げ終局耐力の算定に際しては、コンクリート強度が大き過ぎる場合、鉄筋を過大に配筋する場合、コンクリート圧壊が先行することになり、靱性が損なわれ設計上好ましくない（over-reinforcement：過鉄筋）。

() 曲げ部材では、通例、軸方向筋として圧縮鉄筋と引張鉄筋を配する。両鉄筋を有する断面を複鉄筋、圧縮鉄筋と引張鉄筋のいずれかを有する断面を単鉄筋と呼ぶ。

() コンクリート標準示方書では、修正トラス理論を採用し、腹鉄筋（せん断補強筋）による効果 V_s にコンクリート寄与分 V_c を加算するものである。 V_s については、せん断補強筋の降伏強度に比例し、配置間隔に反比例する。 V_c については、コンクリートのせん断強度に基づき、これは圧縮強度の3乗根に比例する。

() せん断破壊は、梁腹部に水平ひび割れが発生し、脆性的な破壊形式を有する。通例、スターラップ、帯鉄筋などのせん断補強筋で抵抗するが、引張主鉄筋も多少せん断抵抗に関係し、これは、土木学会標準示方書では、コンクリート寄与分 V_c にて考慮される。

() 限界態設計法（終局限界状態）を用いる場合、設計断面力（設計曲げモーメント）および設計断面耐力（設計曲げ耐力）を算定する必要がある。両者は似通った名前で紛らわしいが、前者の断面力は、材料強度に影響を受け、後者の断面耐力は、断面の保有する終局耐力であり、断面寸法に影響される。

() 限界態設計法では安全性確保のため、設計断面力は、荷重係数などにより実際の断面力を割引き（低減させ）、設計断面耐力は材料係数や部材係数により、実際の耐力より割増す（増加させる）。最終的に設計断面力 < 設計断面耐力により、安全性が照査される。

2. 材料に関する次の問に答えよ。答のみ，所定のところに記入せよ。

鉄筋径D25とD16の各異型鉄筋1本から長さ1mの試験片をつくり，引張荷重を載荷した。荷重200kNのときの変形量（伸び量）の比，および鉄筋降伏時の引張荷重の比を求めよ。

・変形量：D25 / D16 =

・降伏荷重：D25 / D16 =

直径10cmの円柱供試体に300kN載荷した時の断面の応力とひずみを計算せよ。コンクリートの圧縮強度を 40N/mm^2 とする。

・応力 =

・ひずみ =

3. 曲げモーメントを受ける単鉄筋長方形断面について，鉄筋比を $p=1\%$ として，断面耐力（終局曲げ耐力）を算定せよ。（安全係数は用いない。破壊モードの判別は省略してよい）。

断面寸法として，幅40cm，全高さ100cm，有効高さ90cm

材料条件として，鉄筋規格：SD295，

コンクリート：圧縮強度 40N/mm^2

4. 上記問題3.の条件にて，設計せん断耐力のうち，コンクリート寄与分について答えよ。ただし，適当な安全係数を用いること。

3つの係数のうち， b_d と b_p を計算せよ。

コンクリートによる設計せん断耐力を計算せよ。